

第 19 課 頭が痛いんです

大切な表現

1. 風邪を引いたんですか。
2. どうしたんですか。
3. どうして晩ごはんを食べないんですか。
4. この漢字の読み方がわからないんですが、教えてくださいませんか。

Can-do／学習目標

- ・理由を説明したり、理由をつけて人に何かお願いをしたりすることができる。

文法項目

1. 「～んです／～のです」の接続
2. 「～んです／～のです」の使い方
3. どうしたんですか
4. どうして～んですか
5. ～んですが、～てくださいませんか

導入

1. 「～んです／～のです」の接続

- ① 「普通体+んです／のです」が使用される状況を紹介する。(p198 の文法小老師を使って、「んです」は「のです」の口語的な形であることを説明する)

用法	状況
①状況の確認	A : (ゴホンゴホン：咳の音) B : A さん、どうしたんですか。
②理由の説明	A : B さん、大きい鞆を持っていますね。 B : ええ。週末に田舎へ帰るんです。
③強調	A : わあ、きれいなスカーフですね。どこで買いましたか。 B : フランスで買ったんです。

- ②接続のし方 : 「～んです」の前は、動詞、い形容詞、な形容詞、名詞の普通体を全部使うことができるが、な形容詞と名詞の「現在肯定」は接続のし方が異なるので、注意を促す。

	普通体	普通体+んです
現在肯定	有名だ	有名なんです
現在否定	有名じゃない	有名じゃないんです
過去肯定	有名だった	有名だったんです
過去否定	有名じゃなかった	有名じゃなかったんです

2. 「～んです／～のです」の使い方

①板書：普通体+んです／のです。

②「～んです／～のです」の表現は、相手を気遣ったり、相手に興味を持っていたりする際に使用されることが多いので、日常会話でよく使われると表現であることを学生と共有する。
p 198 の重点句型 2 の例を参考に、「～んです／～のです」が使用される状況のニュアンスの差を感じてもらう。

3. どうしたんですか

①板書：どうしたんですか。

②相手から何らかの情報を得、その情報を前提に話者が相手を気遣ったり、相手に興味を持って、なぜ相手が今その状態であるかの理由や原因を知るため使用される表現だと説明する。

4. どうして～んですか

①板書 A：どうして+普通体+んですか。（相手のある状況について具体的な理由や原因を知りたいとき）

B：普通体+んです。（p 191：練習 3 「自分の状況やその理由を説明する時に使用される表現」）

②「どうして～んですか」は、「どうしたんですか」より、さらに深い理由や原因を求めるニュアンスがある。

下記の状況で「どうしたんですか」VS「どうして～んですか」のどちらを使いますか？		
①看到有個男性在大家面前跌倒	1) どうしたんですか。	
	2) どうして倒れたんですか。	
②聽到朋友明天會請假	1) どうしたんですか。	
	2) どうして明日休むんですか。	

5. ～んですが、～てくさいませんか

①板書：普通体+んですが、て形+てくさいませんか。（丁寧な依頼表現）

②「～んですが」は話し手の状況や気持ちを説明し、聞き手に配慮する言い方だと伝える。また「～てくさいませんか」は「～てください」より丁寧な表現だと再確認する。その後、下記のような例文を提示し、中国語に翻訳し、ニュアンスを学生に感じてもらう。

- ・ペン/傘がないんですが、貸しててくさいませんか。
- ・この漢字の読み方がわからないんですが、教えててくさいませんか。

教え方のワンポイント

1. 「～んです／～のです」の接続

練習 1 行きます → 行くんです

*18 課の p 166 & 167 の表を参考にし、「丁寧体」から「普通体」への変換の復習をする。動詞・

形容詞・名詞のカードがあれば、それを利用して復習をさせてもいい。

先生：（動詞のカード「食べます」を提示）「食べます」の普通体は？

学生：「食べる」



先生：では、「食べません」は？

学生：「食べない」

先生：では、「食べました」は？

学生：「食べた」

先生：では、「食べませんでした」は？

学生：「食べなかった」

＊「普通体」に「～んです／～のです」を接続した後は、発音しにくいという意見も出てくるかもしれない。その際は、動詞の「行く」なら、

①現在肯定：行く・んですではなく、行くん・です

②現在否定：行かない・んですではなく、行かないん・です

③過去肯定：行った・んですではなく、行ったん・です

④過去否定：行かなかった・んですではなく、行かなかったん・です

のように「ん」と「です」の前で軽く区切ると自然な発音になると説明する。

＊質問と答えの際は、質問では「～んですか？」の「か」を上げて読む。また、答えでは「～んです」の語尾を下げたようにするとよいと紹介する。

2. 「～んです／～のです」の使い方

3. どうしたんですか

練習2 風邪を引いたんですか。

＊「～んですか／～のですか」は、「相手の状況や気になったことを丁寧に尋ねる」ために使用され、この表現が使いこなせれば、より自然な日本語会話ができると紹介する。

＊「普通体」+んですか」は、相手から何らかの情報を得、その情報を前提に質問をする時に使用されると説明する。教科書 p 190 に【 】の中に青い字で書かれた中国語は、質問者が得た情報であると説明する。

用法	状況
①状況の確認	A：（はつくしょん：くしゃみの音） B：A さん、風邪を引いたんですか。



練習3 A：どうしたんですか。 B：風邪を引いたんです。

＊「普通体」+んです」は、自分の状況やその理由を説明する時に使用されると説明する。教科書 p 191 に【 】の中に青い字で書かれた中国語は、質問者が得た情報であると説明する。

用法	状況
②理由の説明	A：（はつくしょん：くしゃみの音） B：A さん、どうしたんですか。 A：風邪を引いたんです。



会話1

＊Ⅱ：「バイクとぶつかった」は「與機車相撞」で、「バイクにぶつかった」は「撞上機車」であり、助詞によって意味が異なる点を認識してもらう。

- ＊Ⅲ：「薬を持ってきましたか。」の「～てくる」は補助動詞で、ここでは「要不要幫你拿藥來？」となると伝える。
- ＊Ⅳ：「何かいいことがあったんですか。」の「何か～か」は、第10課に出てきたが、ここでは「有什麼好事發生了嗎？」となると伝える。
- ＊Ⅴ：「歯が痛くて…」の「～て」は、原因を表し、後文「辛いんです／大変なんです…」が省略されていると伝える。
- ＊Ⅴ：「苦手」「好き」などの感情や能力に関する「な形容詞」は、対象の後に助詞「が」が使われるが、主題や比較を表すなら助詞「は」を使うこともあると説明する。（其他文法事項2）
- ＊Ⅴ：助詞「で」は、ここでは「原因」の用法だと説明する。（其他文法事項2）
- ＊Ⅵ：「あ、いた！」は「あ、痛い」を省略したもので、痛みの瞬間の場面で使用することを伝える。（其他文法事項3）

4. どうして～んですか

練習4 A：どうして晩ごはんを食べないんですか。

B：まだおなかがすかないんです。

- ＊「どうして～んですか」は、「どうしたんですか」より、さらに深い理由や原因を求めるニュアンスがあることを理解させるため、下記のような例を提示してもいい。

	△：簡単な理由	◎：具体的な理由
どうして遅れたんですか。	バスが遅れたんです。	交通事故でバスが遅れたんです。
どうして泣いているんですか。	悲しいんです。	大切な人形をなくして悲しいんです。
どうして日本語を勉強しているんですか。	日本に留学するです。	来年日本の大学で勉強するんです。

- ＊練習の前に、各文の意味が理解できているか確認をする。

- ＊丁寧体から普通体への変換が困難な学生がいたら、練習に入る前に各文を普通体に変換させるといい。

＊注意事項

- 問題2の「話」は、**名詞**であると説明する。

話（はなし）をします [Ⅲ] = 話をする

話（はな）します [Ⅰ] = 話す

- 問題3の「休みます」は、**動詞**であると説明する。

休みます [動詞] = 休む

休みです [名詞] = 休みだ

- 問題10の「引っ越します」は、**第1類動詞**であると説明する。

引っ越します [Ⅰ] = 引っ越す

引っ越し（を）します [Ⅲ] = 引っ越し（を）する

会話2

- ＊Ⅰ：「そうなんですか」は「そうですか」に比べて、より相手の発言に関心、納得感を表すニュアンスがあると説明する。（其他文法事項4）
- ＊Ⅱ：「年のことを考えてください」の「年のこと」は体力や老化に関することで、「年齢による体力の衰えや健康への影響を考慮して行動してほしい」という配慮の意味が込められると伝える。（其他文法事項5）

- ＊Ⅲ：「それはいけませんね」は「相手の行動や状況が良くないことを強く批判するのではなく、やんわりと『よくないですね』と伝える表現」と説明する。

練習5 この漢字の読み方がわからないんですが、教えてくださいませんか。

- ＊「**普通体**＋んですが」の接続助詞「が」は「前置き」の用法で、後文には、要求や依頼、または断りの内容が続くことが多く、時には、「んですが」で文を終え、後に続く部分を聞き手に察してもらうこともあると説明する。これは、話し手が助けを求めていることを間接的に伝えたい場合や、直接断るのが難しいときの婉曲な表現として使われると理解してもらう。
- ＊「～てくださいませんか」の用法は第12課で登場しており、「てください」よりも丁寧な依頼表現だと再確認する。

会話3

- ＊「よかった」は、話し手の安心・安堵・喜びなどの感情を表し、感情表現としてよく使われるため、敬語表現の流れの中でも普通体のままで違和感がないと説明する。
- ＊「香港へも行ったことがありますか。」、「ええ、香港へは2、3回行ったことがあります。」の「へも」と「へは」は助詞を連続して使う形、方向を表す助詞「へ」に「も」や「は」などが付くことで、追加や対比の意味が生まれると説明する。
- ＊「すみませんが、お願いします」の接続助詞「が」は練習5の文型と同じく「前置き」の用法だと伝える。